

「故郷」 授業プリント 1

3年 () 組 () 番 ()

1、学習のねらい

- ①状況や時代を考えて読み、社会と人間を考える。
- ②語句や表現から、心情、作者の意図を読み取る。

2、登場人物

わたし

主人公。シユン。(昔)金持ち。(今)衰退。故郷を離れて二十年

ルントウ
(闘土)

(昔)友人。つやのいい丸顔。きれいな服装。
(今)でくのぼう

ヤンおば
さん

(昔)「豆腐屋小町」美人。
(今)頬骨の出た、唇の薄い、皮肉屋。物を盗む。

母

故郷で暮らしていた。身分にこだわらない。

ホンル

わたしの甥。(かつてのわたし)

ヨン

ルントウの子。(かつてのルントウ)

3、物語の舞台と時代背景

大きな動搖期の中国社会→圧政に人々はすさみ、暗い時代。

4、「故郷」を読んで感じたこと…考えたこと

疑問点など

「故郷」 授業プリント 2

5、次の風物や人物について、「わたし」の思い出と現実では、どのように変化したか、描写に着目して書き出しましょう。

「わたし」の思い出

現在の様子

*もっとずっとよかつた。

*わびしい村々が、いささかの活気もなく、あちこちに横たわっていた。（病人のよう）
→擬人法 ←

*三十年近い昔は、「わたしは坊ちゃんでいられた。」

*枯れ草のやれ茎が、この古い家が持ち主を変えるほかなかった理由を説き明かし顔である。

「マンユエ」を雇うくらい

我が家の様子

故郷の眺め

*豆腐屋小町→「美人」
*おしろいを塗る
*頬骨も出ていない
*唇も薄くない

*頬骨の出た、唇の薄い五十がらみの女
*まるでコンパスそつくり
*まるで、フランス人ぐ嘲るといつた調子

ヤンおばさん

*つやのいい丸顔
*毛織りの帽子
*きらきら光る銀の首輪（溺愛）

*黄ばんだ顔の色／赤くはれた目
*古ぼけた毛織りの帽子
*深いしわ／でくの坊のような人間
*太い、節くれだつた、ひび割れた松の幹のような手

ルントウ

*「おまえ」「シユンちゃん」
→対等の立場

*「旦那様」→主従関係

メモなど

*思い出の風景はキラキラと輝き、魅力的
→現在の様子は活気もなく、すさんでいる。

「故郷」 授業プリント 3

6、「わたし」の心情は二十年前と現在ではどのように違うのか。
故郷に対するずつと美しいと思っていたが、今は鉛色の空の下、わびしい村々が、いささかの活気もなく、まるで病人のよう。

我が家に対する心
情

*三十年前は、暮らし向きも楽だったが、今は荒れたわびしい様子→仕方ないというあきらめ

ヤンおばさんに対する心情

昔は豆腐屋小町とよばれる「美人」だったが、今は生活の苦しさから人間がすさま、嫌みな女性になっている。

ルントウに対する心情

昔は自分の知らない世界を知る「小英雄」だったが、今はすっかり生活にいじめられた「でくのぼう」

なぜ再会後、私は言葉を失ったのか

7、再会した「わたし」と「ルントウ」との関係の変化を最も象徴的に表した部分を抜き出そう。

彼は突然立つたままだった。喜びと寂しさの色が顔に現れた。唇が動いたが、声にはならなかつた。最後に、うやうやしい態度に変わつて、はつきりこう言つた。

身分の違いを優先

「だんな様！……。」↑昔は「おまえ」「シュンちゃん」

わたしは身震いしたらしかつた。悲しむべき厚い壁が、二人の間を隔ててしまつたのを感じた。わたしは口がきけなかつた。

8、「わたし」と「ルントウ」の生活の違いを考えて、二人の間になぜ隔たりができるのかを考えよう。

知事になつたわたしに対して、ルントウは現実にいじめられ。自分の境遇をあきらめているから。

「故郷」 授業プリント 4

9、「わたし」は「希望」という言葉を思い浮かべるが、「わたし」が「ホンル」と「シユイション」に望む社会を考えよう。

①望まない生活

- ・わたしのように、むだの積み重ねで魂をすり減らす生活
- ・ルントウのように、打ちひしがれて心が麻痺する生活
- ・他の人のように、やけを起こして野放図に走る生活

②彼らに望む生活

- ・わたしたちの経験しなかつた新しい生活

10、次の情景が描写している「わたし」の気持ちや状況やを考えよう。

空模様は怪しくなり、冷たい風がヒューヒュー音を立てて、船の中まで吹き込んできた。苦のすき間から外をうかがうと、鉛色の空の下、わびしい村々が、いさこさかの活気もなく、あちこちに横たわっていた。

不安感・さびしさ・暗い・わびしい・病気のよう・榮えていない

紺碧の空に、金色の丸い月が懸かっている。その下は海辺の砂地で、見渡すかぎり緑のすいかが植わっている。

幻想的・不思議・神秘的・美しい

「故郷」 授業プリント 5

11、「手製の偶像」（教科書P119）について

偶像||頭の中にしか存在しない

ルントウにとつての偶像

香炉や燭台（宗教の道具） 銀の首輪

わたしにとつての偶像

若い世代に臨む新しい生活 希望

→歩く人が多くなれば、それが道になる（皆が望めば実現する）

12、感想をまとめよう。

（心中に残った言葉・人物・自分が学び、実行していくこと）